

FOLFIRI (5-FU+ ℓ -LV+CPT-11)+Panitumumab療法						
		Day				
薬剤名	用法用量	1	2	3	8	14
ベクティビックス (Panitumumab)	6mg/kg 点滴静注(初回60 ^{※1})	↓				
イリノテカン (CPT-11)	150mg/m ² 点滴静注 (90分)	↓				
レボホリナート (ℓ -LV)	200mg/m ² 点滴静注 (2時間)	↓				
フルオロウラシル (5-FU)	400mg/m ² 静注時間 (5分)	↓				
フルオロウラシル (5-FU)	2400mg/m ² 持続静注 (46時)	→			46時間	

※1 2回目以降は30分投与可能

【制吐対策】

- | |
|--|
| ① 5-HT ₃ 受容体拮抗薬 (Day1) |
| ② デキサメタゾン静注9.9mg 1V (Day1) デキサメタゾン経口8mg (Day2~3) |

【基本事項】

EGFR陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん ※KRAS野生型のみ

【レジメンポイント】

- ①前投薬の確認、イリノテカンは催吐性リスク中程度、デキサメタゾンは必要時
- ②イリノテカンはレボホリナートは同時に点滴静注

【併用禁忌薬】

TS-1が投与されていないことを確認。 ※併用注意フェニトイン、ワルファリン
イリノテカンはCYP3A4で代謝されるため併用薬注意、グレープフルーツも

【主な副作用】

アレルギー様症状、手足症候群、下痢、骨髓抑制、恶心や口内炎、脱毛、
Infusion reaction、皮膚症状、爪周炎、低Mg血症